

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 12

苦難、患難、苦痛、苦悩、あらゆる環境において、わたしたちを愛してくださった方を通して、勝ち得て余りがある

聖書：ローマ8:18, 31-39. 5:5, 17, 21

I. 「これらすべての事柄において……わたしたちは勝ち得て余りがあります」——ローマ8:37：

A. 「これらすべての事」とは、苦難、患難、苦悩を指します——18, 31節。
B. 「勝ち得て余りがある」とは、勝利の中の勝利、最高の形での勝利を意味します——37節：

1. 神はただ一種類の勝利を与えるだけです。それは勝ち得て余りがある勝利です。
2. 辛うじて勝つというような勝利は、主から与えられる勝利ではありません。
3. 主の勝利は、常に「特大の勝利」（ローマ第8章37節の「勝ち得て余りがある」と訳されたギリシャ語の意味）です。

C. わたしたちは自分自身の中で打ち勝つではありません。キリストの勝利の中で勝ち得て余りがあるのです——I コリント15:57：

1. キリストは彼の復活を通して、神の敵であるサタンに対して、この世に対して、罪に対して、死に対して勝利を収めました——ヘブル2:14. 使徒2:24. 啓1:17-18。
2. キリストの復活は彼の勝利でした。それは、彼の復活にあずかるわたしたちのために、復活において究極的で完全な勝利を成し遂げます——I コリント15:54. ペリピ3:10。
3. わたしたちはキリストの勝利をわたしたちの経験とならせる必要があります——I コリント15:57：

- a. 主イエスの勝利はわたしたちにとって達成された事実にとどめておくべきではありません。それはまた、命を与える霊である復活したキリストと、わたしたちの霊との結合を通して、わたしたちの日ごとの経験となるべきです——45節後半. 6:17。
- b. 患難、苦悩、迫害に遭遇しようとも、わたしたちはその中で打ち勝つだけでなく、勝ち得て余りがあるべきです。これは、神がわたしたちのために定めた経験です——ローマ8:35-37。

D. わたしたちが命の中で王として支配するとき、あらゆる環境において打ち勝つことができます——5:17, 21. 8:31-39. 参照、I コリント15:54-57：

1. 命の中で王として支配することは、多くの王たちとして支配することです——啓20:4, 6. 22:5：

- a. 王として支配することは、サタン、この世、肉、自分自身に打ち勝ち、征服し、支配することです—— I ヨハネ5:4。
 - b. わたしたちのクリスチャン生活は、勝利し、打ち勝つ生活にとどまるべきではありません。それはまた、王のような支配する生活でもあるべきです——5:17, 21。
2. 命の中で王として支配することは、神格においてではなく、命と性質において神となることです——ヨハネ1:12-13 :
- a. 宇宙において神だけが王として支配し、彼だけが王ですが、この王の子供たちであるわたしたちも彼の命の中で王として支配することができます——ローマ5:17。
 - b. わたしたちは神が行なっているように、王として支配するので、命の中で王として支配することによって、わたしたちは神格においてではなく、命と性質において神となります——8:16. コロサイ3:4. II ペテロ1:4。
 - c. わたしたちは命の中で王として支配するとき、わたしたちのためである神を持つことによって、環境上の困難や苦難に勝ち得て余りがあります——ローマ8:31, 34。
- E. わたしたちはあらゆる環境において、キリストと共に打ち勝つことですべてに超越する必要があります :
- 1. わたしたちが超越することができるのは、キリストの復活と昇天の中で彼と結合されており、彼と共に天上で座らされているからです。これが、万物に対して超越することです——エペソ2:5-6。
 - 2. わたしたちは、すべての支配、権威、力、主権、そしてこの時代ばかりではなく、来たるべき時代においても唱えられるあらゆる名を超えて、はるかに高くされました——1:21-23。
 - 3. 今日、わたしたちはキリストと共に彼の勝利の中で、すべてに超越する命を生きることができます——2:5-6。

II. 「わたしたちを愛してくださった方を通して」、わたしたちは勝ち得て余りがあります——ローマ8:37 :

- A. わたしたちに対する神の不変の愛と、キリストがわたしたちのためにあらゆることを達成してくださったという事実のゆえに、患難も迫害もわたしたちを抑圧したり敗北させたりすることはできません。むしろ、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは打ち勝ち、勝ち得て余りがあります——37節。
- B. ローマ第8章のキリストの愛は、苦難を受けている者たちのためです——18節 :
 - 1. わたしたちがどのような問題を持とうが、答えはいつでもキリストの愛です——37節。
 - 2. キリストの愛はわたしたちに、すべての患難と苦悩に打ち勝つことができるようにします。
- C. 敗北させられるのではなく、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります——37節 :

1. わたしたちは死に渡されており、ほふられる羊と見なされています——36節。
 2. それにもかかわらず、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります。
 3. わたしたちを愛しているわたしたちの主は、これらすべての事柄に勝ち得て余りがありました。これは、すべてのクリスチャンの共通の経験であるべきです——37節。 I ヨハネ5:4。
 4. わたしたちの愛する方を通して、わたしたちは勝ち得るだけではありません。わたしたちは勝ち得る者たちとなって、すべての消極的なものに、死にさえも勝ち得ることができます——使徒2:24。 啓1:17後半-18。
- D. ただ一種類の愛だけが真のものです。それは三一の神の分与の結果としての愛です——ローマ8:35, 39。 15:30 :
1. その霊は愛の属性を持っているので、彼の分与の下にいればいるほど、ますますわたしたちは真の愛を持ちます—— I ヨハネ4:8, 16。
 2. 実際には、その霊がわたしたちの中へと分与されればされるほど、ますますわたしたちは神聖な愛で構成されるという意味で愛になります——ローマ15:30。 エペソ4:15-16。
 3. その時、わたしたちはその霊の表現である愛を持ち、愛をもって他の人たちに対応するでしょう——ガラテヤ5:22。
- E. 神の愛をわたしたちの心の中に注がれることは、神の本質の事柄です——ローマ5:5 :
1. 神の愛がわたしたちの心の中に注がれているので、あらゆる信者の心は愛の心です。
 2. 御父である神を彼の愛の中で経験し、享受することにおいて、わたしたちは神の本質の要素である愛をわたしたちの心の中に分与されることを経験し、享受します。
- F. エペソ第3章19節で、パウロは知識を超越したキリストの愛に言及しています :
1. キリストの愛は知識を超越していますが、わたしたちはそれを経験することによって知ります。
 2. キリストが計り知ることができないように、彼の愛も計り知ることができません——18-19節 :
 - a. わたしたちがこれまで経験してきたキリストの計り知れない愛を本来経験すべきすべてのものと比べるなら、それは一滴の雨粒と大海のようなものです。
 - b. 宇宙的な大きさと計り知れない愛を持つキリストは、広大な無限に続く大海を経験するようなものです——18-19節。
- G. エペソ第4章15節から16節で言及されている愛、すなわち神の内なる実質は、キリストにある神の愛であり、わたしたちの中でキリストの愛となって、わたしたちに愛することができるようにし、愛である三一の神（神の愛、キリストの愛、その霊の愛）を分与することを通して、わたしたちが愛になることができるようになります——ローマ8:39, 35。 15:30。
- H. キリストにある神の永遠の愛は、わたしたちの上にはためく旗印であり、神によつ

て愛されているわたしたちが勝ち得て余りある者たちであることを展示、展覧します——8:37。

- I. 「あなたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない」(啓2:10前半)。なぜなら、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方、すなわち、「主の主、王の王」(17:14)であるわたしたちの愛する主イエス・キリストを通して、わたしたちは勝ち得て余りがあるからです。

© 2022 *Living Stream Ministry*